

平成29年2月23日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

板倉、大木、黒田、菅、高橋、長澤、中島、名和、平勢、榊屋、安富の各教授

青山、池亀、額定其芳、小寺、鍾、塚本、馬場、古井、森本、米野の各准教授

海外渡航者

佐藤、園田、田中、松田の各教授

議事

2月9日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P6のとおり1件。

報告事項

3. 所長報告

高見澤所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 拡大入試監理委員会（2月21日）

資料P7に基づき、第2次試験（前期日程）への協力について要請があった。

2) 科所長会議（2月21日）

① 指定国立大学法人制度への対応

資料P10～11に基づき、指定国立大学法人制度への対応について、当研究所が関係することとなる学部教育改革プログラムの概要および研究力強化の取り組み例の説明があった。

② 東京大学組織的利益相反監視委員会規則の制定

個人ではなく組織の利益に関する利益相反について規定する東京大学組織的利益相反監視委員会規則が新たに制定されるとの説明があった。

③ 東京大学ハラスメント防止委員会規則の一部改正

資料P12～13に基づき、東京大学ハラスメント防止委員会規則の一部改正について説明があった。

④ 東京大学セクシュアルハラスメント防止宣言の一部改正

資料P14～20に基づき、東京大学セクシュアルハラスメント防止宣言の一部改正について説明があった。

⑤ クロス・アポイントメント制度の運用の明確化

資料P21～23に基づき、クロス・アポイントメント制度の運用の明確化について説明があった。

⑥ 施設維持管理計画ワーキンググループ検討結果

資料P 24～35に基づき、施設維持管理計画について説明があった。

⑦ 総合技術研究会 2017 東京大学

回覧資料に基づき、総合技術研究会 2017 東京大学が3月8日(水)から3月10日(金)にかけて開催されるとの説明があった。

⑧ 東京大学環境報告書 2016

回覧資料に基づき、東京大学環境報告書 2016 が発行されたことの報告があり、同内容のものがwebに掲載されているので、詳しくはそちらを参照願いたいとの説明があった。

3) 研究担当理事等と科所長会議出席者メンバーとの懇談(2月21日)

本学における軍事研究について、懇談が行われたとの報告があった。

4) 平成29年度日本学術振興会特別研究員の受入れについて

資料P 36に基づき、平成29年度日本学術振興会特別研究員として3名の受入れを予定している旨報告があった。

5) 教員の海外渡航について(報告)

資料P 37～38のとおり6件を承認した旨報告があった。

6) 非常勤講師・委員等の応嘱について

資料P 39～40のとおり委員等2件、非常勤講師等4件を承認した旨報告があった。

7) その他

① 平成28年11月16日(水)から平成28年12月14日(水)にかけて実施されたストレスチェックについて、当研究所の構成員35名が受検し(氏名職名は非開示)、そのうち高ストレスと判定された者がいたとの報告があった。高ストレス判定の者には面接指導の案内が届いているはずだが、そうでない場合も気になることがあれば早めに相談窓口や産業医に相談していただきたいとの要請があった。

② 平成29年度世界トップレベル研究拠点プログラム(WP I)の公募が行われているとの説明があり、併せて当研究所が主体となって応募する予定はないが、他部局から教員個人が協力要請を受けた場合は応じてあげていただきたいとの補足説明があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

名和委員長代理より、資料P 41～42に基づき、今年度の予算執行状況について報告があり、個人・委員会とも、計画的な予算執行に協力いただきたいとの要請があった。

2) インフラ委員会

平勢委員長代理より、採用予定教員に割当を予定している研究室に机、椅子と書棚が整っていないとの指摘のあった件については、前回教授会の議論に基づき、調整を進めているとの報告があった。

3) 情報・広報委員会

特になし

4) 研究企画委員会

池亀委員より、

① 3月31日付けにて任期満了により退職となる李賢鮮准教授の離任研究会を本日午後開催することの案内があった。

② 3月31日付けにて辞職される田中明彦教授の離任研究会を3月9日(木)に開催することの案内があった。また、同日開催される退職記念パーティーについて、実行委員である松田教授に代わり、参加申込および入金期限はすでに過ぎているが、一報いただければ参加を受け付けるとの補足説明があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

6) 図書委員会

特になし

7) その他

環境安全管理室

中島環境安全管理室長より、資料P43～44に基づき、平成28年6月6日の産業医職場巡視で指摘事項となった各事案について、対応がすべて完了したとの報告があった。また、今後も什器類の転倒防止や動線の確保等に協力願いたいとの要請があった。

5. その他

内部監査報告について

土田事務長より、資料P45～46に基づき、平成28年11月22日に実施された内部監査の結果について報告があった。

また、今回は指摘事項等として文書には載らなかったが、ヒアリングの状況等から考えて今後指摘となり得るケースについても説明があり、改善への協力について依頼があった。

これを受け具体的な質問が多く出たことから、高見澤所長より、この場で質疑に時間を取るのではなく、制度や正しい手続きを学ぶ機会を設けたらどうかとの提案があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

高見澤所長から説明があり、資料P47の1件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P48のとおり1件の期間延長が承認された。

8. 教員の人事についてー1

高見澤所長から、審議の進行の都合上、教員の人事の一部(部局内異動)について以下の提案があり、了承された。

大木教授 附属東洋学研究情報センター教授から東アジア研究部門（第二）へ配置換

安富教授 東アジア研究部門（第一）から新世代アジア研究部門へ配置換

高見澤教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（免）

名和教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（免）

柁屋教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（命）

大木教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（命）

小寺准教授 附属東洋学研究情報センター教授の兼務（命）

9. 学内委員の委嘱について

高見澤所長から、資料P 49に基づき、本年度中に任期満了となる学内委員について同教員に引き続き担当いただきたい旨依頼があり、承認された。また、本年度末で任期満了になる学内委員の一部、および所長の充て職とされている学内委員について、平成29年4月からは資料P 50のとおり担当いただきたい旨依頼があり、承認された。

10. 平成29年度研究計画について

柁屋研究企画委員長代理から、資料P 51～59および回覧資料に基づき、今年度からの変更点等を中心とした説明があり、続けて高見澤所長から、本研究計画について次回教授会にて再度審議して、最終的に承認することとしたい旨説明があり、了承された。

11. 平成29年度所内予算案について

名和財務委員長代理より、資料P 60に基づき、予算配分案について説明があり、続けて、資料P 61～65の各委員会予算について、ヒアリングによる査定結果の説明があった。本件について、次回教授会にて再度審議したうえ、当初配分案として確定することとしたいこと、本件予算案に意見のある方は次回財務委員会の前日までにお申し出いただきたい旨説明があり、了承された。

12. 預託金・部局剰余金執行計画について

名和財務委員長代理より、資料P 66～67に基づき、預託金・部局剰余金執行計画について概要の説明があった。その後、高見澤所長より、本件計画案は、提出期限が教授会審議前であったため暫定計画として既に本部へ提出したものであるとの説明があったが、異議なく承認された。

13. 特任教員及び特任研究員選考に関する覚書の改正について

高見澤所長より、資料P 68～69に基づき、特任教員及び特任研究員選考に関する覚書については前回教授会にて特任研究員採用の審議の際に意見が出されたことを受け、第4条に但し書きを付すこととした旨の経緯説明及び改正の提案があり、審議の結果、承認された。

14. 国際学術交流室非常勤講師の選考、客員の称号付与に関する申し合わせの改正について

高見澤所長より、資料P 70に基づき国際学術交流室非常勤講師の選考、客員の称号付与に関する申し合わせについて、非常勤講師の任期、及び客員称号の期間を5年から10年に変更することの経緯説明及び改正の提案があり、審議の結果、承認された。

15. 特任研究員の採用について

高見澤所長から、回収資料に基づき、1名の採用（新規）候補者について説明があり、承認された。

16. 教員の人事についてー 2

① 高見澤所長から、東アジア研究部門（第二）の准教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、続けて、東アジア研究部門（第二）選考委員長から、回収資料に基づき、准教授候補者について、選考過程、選考理由等の説明があり、投票を行った結果、可決された。

② 高見澤所長より、西アジア研究部門選考委員会より准教授候補者の推薦があった旨説明があり、続けて、同選考委員会委員長から、当該候補者の略歴、研究業績、推薦理由等の説明があり、審議を行った。次回以降の教授会で再度審議のうえ、投票を行いたい旨発言があった。

17. その他

特になし

以上